

(書式 1 - 1 - 3 - 2)

株式譲渡制限会社の自己株式の処分の場合の株主総会議事録

臨時株主総会議事録

平成〇〇年〇〇月〇〇日（〇曜日）午前〇〇時から、〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号所在当社本店（〇階〇〇会議室）において、臨時株主総会を開催した。

この株主総会には、代表取締役社長〇〇〇〇、専務取締役〇〇〇〇、常務取締役〇〇〇〇、取締役〇〇〇〇、取締役〇〇〇〇、監査役〇〇〇〇が出席した。

Asahi Chuo

定刻、当社定款の定めにより代表取締役社長〇〇〇〇は議長となり開会を宣し、本日の出席株主数及びその議決権数等下記のとおり報告し、本総会の付議議案の決議に必要な会社法及び定款の定足数を満たしている旨を述べ、直ちに議案の審議に入った。

記

総株主数（平成〇〇年〇〇月〇〇日現在）	〇〇名
発行済株式総数（平成〇〇年〇〇月〇〇日現在）	〇〇, 〇〇〇株
議決権を有する株主数	〇〇名
総株主の議決権数	〇〇, 〇〇〇個
本日出席の株主数	〇〇名
その議決権数	〇〇, 〇〇〇個
合計議決権数	〇〇, 〇〇〇個

議 案 自己株式処分の件

議長は、ストック・オプションの行使があったため、募集手続により自己株式を株主に割当て処分をしたい旨説明し、出席株主に質問はないか問うたところ、出席株主からは特段質問は出なかった。次いで、議長は、その賛否を議場に諮ったところ、出席株主の議決権の3分の2以上の賛成（書面による原案賛成の株主〇〇〇名、その議決権数〇, 〇〇〇個を含む）を得たので、本議案は原案のとおり可決された。

記

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 処分する株式の種類、数量 | 普通株式 <u>A 〇, 〇〇〇株</u> |
| 2 処分する株式の1株の価格 | 〇, 〇〇〇円 |
| 3 この払込期間 | 平成〇〇年〇〇月〇〇日 |
| 4 株主に、申込をなすことにより、処分する株式の割当てを受ける権利を
与えたこと | |
| 5 上記株主の申込期日 | 平成〇〇年〇〇月〇〇日 |

以上をもって、本総会の会議の目的事項はすべて終了したので、議長は、午前〇〇時〇〇分閉会を宣した。

上記議案の経過及びその結果を明確にするためこの議事録を作成し、議長及び出席取締役が次に記名押印する。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇〇〇株式会社臨時株主総会

議長 代表取締役社長 ○ ○ ○ ○ 印

専務取締役 ○ ○ ○ ○ 印

常務取締役 ○ ○ ○ ○ 印

取締役 ○ ○ ○ ○ 印

取締役 ○ ○ ○ ○ 印



解説

- 1 平成18年5月施行の「会社法」では、自己株式処分についても、会社が株式を発行する場合と同様、引受人を募集する形での処分となった（会社法第199条第1項）。

そして、株式譲渡制限のある会社については公開会社の特例（会社法第201条）は認められず、会社法第199条第2項で株主総会の議決が必要となり、かつ、この議決は特別決議のため3分の2以上の賛成が必要となる（会社法第309条第2項第5号）。

- 2 また、譲渡制限のある会社の場合、一般公募は考えられず、相互に自己株式の引受権を認めることとなるため、譲渡においてはその旨のことを取り決め、かつ株主の申込期日も決めておく必要がある（会社法第202条第1項第1、2号）。